

# 情報提供

那医発第 587 号  
令和5年1月25日

施設長 各位

那覇市医師会  
会 長 友利 博朗  
担当理事 外間 浩



平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。  
沖縄県医師会を通じて『「10代の妊娠・出産・子育て～その現状と課題から必要とされる支援とは～」シンポジウムのご案内』の通知が届きましたのでご案内申し上げます。  
☆ 問合せ先 (那覇市医師会 事務局:宮城・前泊 /電話 098-868-7579)  
.....記.....

冲医発第 1563 号  
令和 5年 1月24日

地区医師会担当理事 殿

沖縄県医師会  
理事 徳永義文



## 「10代の妊娠・出産・子育て～その現状と課題から必要とされる支援とは～」 シンポジウムのご案内

今般、一般社団法人あるより、標記文書が発出されましたのでお知らせ致します。

本件は、「10代の妊娠・出産・子育て～その現状と課題から必要とされる支援とは～」シンポジウムのご案内となっております。

本シンポジウムは2023年2月1日(水)13:30～16:30の日程で、沖縄県立博物館美術館・講堂(那覇市おもろまち3-1-1)で、ハイブリッド形式にて開催されます。

思春期の特性を踏まえた母自身への支援や、親子の生活を支える基盤に必要なことなどについて考えるシンポジウムとなっております。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知の上、貴管下会員への周知方につきご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

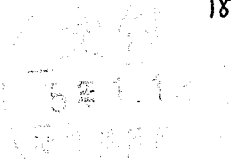
なお、申し込み方法につきましては、①氏名②電話番号③所属④メールアドレス⑤参加方法(会場・オンライン)をお書き添えの上、来る1月29(日)までに一般社団法人あるへメールにてお申し込みください。

### 記

- 「10代の妊娠・出産・子育て～その現状と課題から必要とされる支援とは～」シンポジウムのご案内 (令和5年1月吉日)

※関係文書は文書管理システムへ掲載致します。

沖縄県医師会事務局業務2課:赤嶺  
TEL:098-888-0087  
FAX:098-888-0089  
g2@okinawa.med.or.jp



令和5年1月吉日

若年妊産婦支援関係機関各位

一般社団法人 ある  
代表理事 柵原喜美枝

『10代の妊娠・出産・子育て～その現状と課題から必要とされる支援とは～』  
シンポジウムのご案内

新年が明け、貴殿におかれましては益々ご清祥のことと存じます。

この度、当法人では沖縄県子ども未来政策課より、「若年妊産婦支援促進事業」を受託し、県内41市町村への若年妊産婦支援に関する調査を行い、表記のシンポジウムの開催に向けて取り組んでいるところです。

今回のシンポジウムでは、全国一の比率だといわれる10代での妊産婦に対して、県内各地での取り組みと課題を明らかにし、若年妊産婦当事者への適切な支援について沖縄県全体で考える機会にしたいと思っています。

つきましては、同封しているチラシを支援関係者へ広く伝えて頂き、シンポジウムにご参加頂けることをお願い申し上げます。

尚、本イベントはリモートでも参加することができます。

ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 記

1. シンポジウムフライヤー
2. 一般社団法人 ある リーフレット他

以上

## 【問い合わせ先】

受託団体 一般社団法人 ある  
担当：安里・仲間  
電話 080-1703-9738  
沖縄県子ども未来政策課  
事業推進班 金子・矢部  
電話 098-866-2100

# 10代の妊娠・出産・子育て

—その現状と課題から必要とされる支援とは—

沖縄県における若年産婦の比率は全国平均の2倍。「10代で出産する」ことを決めた彼女たちの選択を「自己責任」で終わらせず、思春期の特性を踏まえた母自身への支援や、親子の生活を支える基盤に必要なことなどについて考えます。

ハイブリッド開催

会場定員100名

参加費無料

2023年 **2月1日(水)** 13:30~16:30 (開場12:00)  
沖縄県立博物館美術館・講堂 (那覇市おもろまち3-1-1)

13:30~14:20 基調講演 (栃木県よりオンライン配信)

## 「10代の性と妊娠について考える」

もちづき よしこ  
【講師】 **望月 善子**

医療法人もちづき女性クリニック理事長  
獨協医科大学医学部産科婦人科特任教授



プロフィール

1983年 鳥取大学医学部卒業。同年以降大阪大学医学部附属病院等へ勤務。2011年獨協医科大学病院女性医師支援センター長・同大学病院産科婦人科教室教授。2016年もちづき女性クリニック院長を経て現職に至る。

■医学博士 ■厚生労働省「女性の健康の包括的支援総合研究事業」事前評価委員会委員 ■2011年「10代出産女性の現状と課題—10代出産女性のアンケート調査からの検討—」獨協医科大学 産科婦人科学 4人共著で論文を発表

14:30~14:50 調査結果報告 「市町村における若年妊産婦支援に関する調査」から

15:00~16:30 パネルディスカッション

## 10代妊産婦の支援現場と考える「居場所」と今後の展望

ファシリテーター



**本村 真**  
琉球大学  
人文社会学部教授

パネリスト



**儀間 博嗣**  
南風原町役場民生部  
こども課長  
「ママ笑room」所管



**三浦 耕子**  
沖縄県立中部病院  
産婦人科医  
「沖縄子ども白書2022」  
(5医療/からだところ) 寄稿



**野村 れいか**  
九州大学 大学院講師・  
公認心理師・臨床心理士  
「児童虐待における公認心理師の  
活動」(第2部 第4章) 執筆



**棚原 喜美枝**  
一般社団法人ある  
代表理事  
「10代ママくらぶ」  
那覇・浦添会場にて運営

12:10~13:20 録画上映

### 「10代妊産婦支援の居場所より」

【市町村運営】

- ・うるま市:cocomamaru
- ・沖縄市:ゆるくん
- ・南風原町:ママ笑room
- ・宮古島市:ちいきの保健室 たね
- ・石垣市:ママホッとステーション

【民間運営】

- ・若年シングルマザーを応援する  
シェルター(通称:おにわ)
- ・(一社)ある:10代ママくらぶ

行政対象プレ企画

事前調査にご協力いただいた行政担当様各位には、この動画の視聴用URLをメールにてお知らせ致します。  
※視聴期間1/25~2/8

### 申込方法 1/29(日)締切

①氏名②電話番号③所属④メールアドレス⑤参加方法(会場・オンライン)をお書き添えの上、メールでお申込み下さい。

【主催】**沖縄県** 令和4年度「若年妊産婦支援促進事業」  
【受託団体・問合せ先】一般社団法人ある  
【メール】arukodomo@gmail.com  
【電話】080-1703-9738

申込フォーム

